ちくりん舎 市民放射能監視センター

ちくりん舎ニュース

市民放射能監視センターlab.chikurin@gmail.com　　2014.10.10 第２巻（第６号）

測定随時受付中

ちくりん舎は、行政から独立して放射能汚染を監視・測定、情報発信する市民団体・個人の共同ラボです。

市民放射能監視センター
●共同ラボ & 事務所
〒 190-0181
東京都西多摩郡日の出町
大久野 7444

●電話 & FAX
042-519-9378
●電子メール
lab.chikurin@gmail.com

目次

●リネン吸着法プロジェクトがスタート　…… 1
●伊達市立幼稚園で尿検査　…… 2
●ちくりん舎の測定結果　…… 3
●ちくりん舎会員紹介（４）　……4
●会員募集中　……4

大気中のホコリの放射能を測る リネン吸着法プロジェクトがスタートしました

＜リネン布で大気中の放射能が測れる＞

きっかけは「たまあじさいの会」が進めている日の出町エコセメント工場の差し止め裁判です。東京高裁での審理も大詰めに近づいた 2014 年 4 月、エコセメント工場の煙突から排出され周辺にまき散らされる放射能[注]の証拠を何とか捕まえられないかと考えた一人の会員のアイデアでした。衣類やシーツなどに使われるリネン（麻）布をエコセメント工場のホコリが風で運ばれていると目される屋外の２カ所に２週間ほど設置したのです。それを回収してちくりん舎のゲルマニウム半導体測定器で測定すると見事にセシウム 134,137 が検出されました。比較のために青梅市内の民家庭と民家屋内に設置したリネンからは検出されませんでした。

これまで、たまあじさいの会では空間線量の調査や土壌汚染調査、風の流れの調査、植物の状態の調査等を積み上げ、エコセメント工場から二次汚染の形で放射能が環境中にばらまかれていることを立証してきました。しかし被告側は「福島原発事故で直接飛んできたホットスポットだ」と反論していました。リネン布の調査により、エコセメント工場から

日の出町エコセメント工場

毎日流れて来る大気中のホコリに放射能が含まれていることが明白になりました。さっそく裁判の資料としても提出されましたが、被告側はこの点については一切の反論ができていません。

＜各地の大気中粉塵を測定しよう－リネン吸着プロジェクトの発足＞

食品に含まれる放射能についてはまだまだ十分とは言えませんが、それなりに関心も高くデータもいろいろなところで公開されています。しかし大気中の細かなホコリに含まれる放射能については測

（注） エコセメント工場は多摩地区のゴミ焼却炉からセシウムを含んだ焼却灰を集めてセメント原料と混ぜて「エコセメント」を製造しています。その製造過程でセシウムが再び環境中にばら撒かれる可能性があります。

エコセメント工場周辺でのリネン布設置での調査

リネン布設置場所	設置時間 (h)	リネン布（38 × 150cm）への付着量 (Bq)	
		セシウム 134	セシウム 137
日の出末二ツ塚峠手前左手前森	336	不検出 (0.17)*	**0.55 ± 0.13**
二ツ塚峠手前尾根道フェンストップ	336	不検出 (0.15)*	**0.45 ± 0.11**
青梅市柚木町民家庭	336	不検出（0.16）	不検出（0.19）
青梅市柚木町民家屋内	336	不検出（0.16）	不検出 (0.17)

＊検出下限以下で定量化できなかったが Cs 134はピークありと判定。括弧内は検出限界値。

定しているところも少なく、ほとんどデータはありません。

子どもたちが呼吸によりセシウムを身体に取り込んでしまっているのではないかと懸念する人は多いですが、具体的なデータが無いのが実情です。こうしたことから、この「リネン吸着法」を用いて各地の大気中のホコリに含まれる放射能を測定して定量的に比較できるようにしよう、という目的でプロジェクトが立ち上がりました。ちくりん舎、フクロウの会 / 放射能測定プロジェクト、風下の会などの共同プロジェクトです。

各地で賛同者を募り、リネン布を 2 週間設置してそれに付着したセシウム 134,137 を測ります。各地の賛同者には 1 か所あたり 3000 円の負担をしていただくこととして、それ以外の経費については構成団体が寄付や助成金により資金を出すことにしました。ちくりん舎は一部の測定を無償で行うことで協力する形となりました。

当面、福島県内を中心に約 30 箇所で調査を行うことを目標としています。

伊達市梁川町の民家に
設置したリネン布

＜始めて見てさっそく効果を実感－リネン吸着法のメリット＞

リネン吸着法はとても手軽です。庭先のフェンス、立木や電柱など目指す場所に幅約 40cm、長さ 150cm のリネン布を 2 週間ほどぶら下げておくだけで良いのです。

大気中のホコリの放射能測定には一般にエアダストサンプラーと呼ばれる機械を使用します。ファンで空気を吸い込んでフィルターでホコリを集めてそのフィルターに付いた放射能を測ります。ファンを使いますので電気が必要ですし、騒音の問題もあります。吸い込んだ空気の流量を測らなければならないのでファンの流量校正も必要です。素人にはなかなか気軽にはできません。

しかしリネン方は簡単です。電気もいらず、騒音もしません。リネン布を吊るしておいて後で回収すれば良いのです。吊るして置いた時間、リネン布の面積、吊るして置いた期間の天候の記録を取っておけば、それぞれの地点のホコリの放射能量が定量的に比較できます。またちくりん舎ではエアダストサンプラーによる測定結果とリネン吸着法での測定結果の相関を調べています。これができれば環境省や自治体、大学などが調査している測定結果と比較することも可能です。

＜空間線量だけでは分からない－風が放射能を運んでいる実態＞

実施したのは、まだ 10 カ所程度ですが既に興味深い知見が集まりだしました。

伊達市内でも梁川町は空間線量が比較的低い場所です。ところが梁川町の民家の庭先でのリネン吸着量は、市内でも線量の高いとされる下小国より高い結果となりました。調査してみたところ、梁川町の民家は阿武隈急行線の線路わきにありました。電車の往来により周辺のセシウムを含んだホコリが舞いあがっている可能性があります。

南相馬市は大変高い傾向にありますが、これも居住制限区域への除染作業の車の往来によるものとの推定ができます。引き続き調査を進めてゆきます。リネン吸着プロジェクトについて詳しく知りたい方は、ちくりん舎までお問合わせ下さい。

伊達市私立幼稚園で尿検査
約 6 割強の子どもの尿からセシウムを検出

「フクロウの会 / 放射能測定プロジェクト」、「チャイるのネット」、「Little hope ～ あなたへ～」の 3 グループは共同で伊達市の私立幼稚園の園児たちの尿検査を進めています。このたび 1 回目の検査が終わり、その結果説明会を幼稚園で行いました。

今回は 32 名の子どもたちの尿検査を行いました。その結果 10 名の子どもたちの尿からセシウム 134,137 合計で 0.25 ～ 0.72 ベクレル / リットルが検出されました。その他に検出下限以下で定量化はできませんでしたがセシウムのスペクトルのピークが「有」の判定の子どもが 10 人いました。合わせると約 6 割以上の子どもの尿からセシウムが検出されたことになります。

定しているところも少なく、ほとんどデータはありません。

子どもたちが呼吸によりセシウムを身体に取り込んでしまっているのではないかと懸念する人は多いですが、具体的なデータが無いのが実情です。こうしたことから、この「リネン吸着法」を用いて各地の大気中のホコリに含まれる放射能を測定して定量的に比較できるようにしよう、という目的でプロジェクトが立ち上がりました。ちくりん舎、フクロウの会 / 放射能測定プロジェクト、風下の会などの共同プロジェクトです。

各地で賛同者を募り、リネン布を 2 週間設置してそれに付着したセシウム 134,137 を測ります。各地の賛同者には 1 か所あたり 3000 円の負担をしていただくこととして、それ以外の経費については構成団体が寄付や助成金により資金を出すことにしました。ちくりん舎は一部の測定を無償で行うことで協力する形となりました。

当面、福島県内を中心に約 30 箇所で調査を行うことを目標としています。

伊達市梁川町の民家に
設置したリネン布

＜始めて見てさっそく効果を実感－リネン吸着法のメリット＞

リネン吸着法はとても手軽です。庭先のフェンス、立木や電柱など目指す場所に幅約 40cm、長さ 150cm のリネン布を 2 週間ほどぶら下げておくだけで良いのです。

大気中のホコリの放射能測定には一般にエアダストサンプラーと呼ばれる機械を使用します。ファンで空気を吸い込んでフィルターでホコリを集めてそのフィルターに付いた放射能を測ります。ファンを使いますので電気が必要ですし、騒音の問題もあります。吸い込んだ空気の流量を測らなければならないのでファンの流量校正も必要です。素人にはなかなか気軽にはできません。

しかしリネン方は簡単です。電気もいらず、騒音もしません。リネン布を吊るしておいて後で回収すれば良いのです。吊るして置いた時間、リネン布の面積、吊るして置いた期間の天候の記録を取っておけば、それぞれの地点のホコリの放射能量が定量的に比較できます。またちくりん舎ではエアダストサンプラーによる測定結果とリネン吸着法での測定結果の相関を調べています。これができれば環境省や自治体、大学などが調査している測定結果と比較することも可能です。

＜空間線量だけでは分からない－風が放射能を運んでいる実態＞

実施したのは、まだ 10 カ所程度ですが既に興味深い知見が集まりだしました。

伊達市内でも梁川町は空間線量が比較的低い場所です。ところが梁川町の民家の庭先でのリネン吸着量は、市内でも線量の高いとされる下小国より高い結果となりました。調査してみたところ、梁川町の民家は阿武隈急行線の線路わきにありました。電車の往来により周辺のセシウムを含んだホコリが舞いあがっている可能性があります。

南相馬市は大変高い傾向にありますが、これも居住制限区域への除染作業の車の往来によるものとの推定ができます。引き続き調査を進めてゆきます。リネン吸着プロジェクトについて詳しく知りたい方は、ちくりん舎までお問合わせ下さい。

伊達市私立幼稚園で尿検査
約 6 割強の子どもの尿からセシウムを検出

「フクロウの会 / 放射能測定プロジェクト」、「チャイるのネット」、「Little hope ～ あなたへ～」の 3 グループは共同で伊達市の私立幼稚園の園児たちの尿検査を進めています。このたび 1 回目の検査が終わり、その結果説明会を幼稚園で行いました。

今回は 32 名の子どもたちの尿検査を行いました。その結果 10 名の子どもたちの尿からセシウム 134,137 合計で 0.25 ～ 0.72 ベクレル / リットルが検出されました。その他に検出下限以下で定量化はできませんでしたがセシウムのスペクトルのピークが「有」の判定の子どもが 10 人いました。合わせると約 6 割以上の子どもの尿からセシウムが検出されたことになります。

伊藤教行
1959 年4月生まれ、55歳
東京都東大和市在住

1975 年、東京都立
昭和高等学校普通科卒業。
1983 年　東海大学海洋学部
海洋工学科卒業。
NPO 法人 R.I.La 理事、主任
研究員。NPO 法人東大和ゴ
ミレスくらぶ理事、事務局長。
放射線取扱主任者、小型船
舶免許１級
趣味　釣り（全般）、モータース
ポーツ観戦、
特技　発明（出願特許 56 件）

NPO 法人 R. I. La について
～放射能汚染から子ども達の健康を守るために～

NPO 法人 R. I. La　理事　伊藤教行

私共 NPO 法人 R.I.La は、主に東京都下多摩エリアを中心に、2011 年３月１１日の東日本大震災により発生した福島第一原子力発電所の事故に起因する放射能汚染から子ども達の健康を守ることを目的として、環境放射線の状況を調査する活動を行っています。

活動は 2011 年６月に市民活動からスタートし、2013 年８月に NPO 法人として登記致しました。2011 年から 2012 年にかけては、主に東京都東大和市内の小中学校の通学路を中心に、公園・公共施設などの高線量地点の調査や、東大和市内並びにその周辺で栽培される農産物の放射線調査を中心に活動をしておりましたが、NPO 法人として活動をしている現在では、プロジェクトとして東大和市内を流れる空堀川の定点観測地点（河川敷の放射能汚染が深刻な川です）並びに残堀川の土壌と空間線量調査、多摩川の中流域の土壌と空間線量調査、そして東京湾奥の魚介類の調査を中心に環境放射線の調査を実施しています。

ちくりん舎さんには、東大和市内を流れる空堀川の土壌の放射線検査をお願いしています。この空堀川の河川敷の土壌は高い場所では 3000Bq/kg を超える場合もあり、その検査は被爆の危険を伴う可能性もあるものですが、ちくりん舎さんの高い精度と技術力を信頼して、測定をお任せしています。

ちくりん舎　会員募集中

ちくりん舎では会員・賛助会員を募集しています。メールまたは電話、FAX でお問合わせ下さい。

●正会員
団体会員 / 年会費 1 口 10,000 円（何口でも）
個人会員 / 年会費 3,000 円
ちくりん舎の運営に関わり、ちくりん舎を支えていただく団体、個人です。

●賛助会員
年会費 1 口 1,000 円（何口でも）
ちくりん舎の趣旨に賛同して支えていただく方々です。ちくりん舎のニュースレター、イベント案内等の情報が受け取れます。
★カンパも随時受け付けています。

＜市民放射能監視センター口座＞
●ゆうちょ銀行
振込口座：00150-5-418213
加入者名：市民放射能監視センター
シミンホウシャノウカンシセンター
●他行からの振込の場合
店名 〇一九（ゼロイチキュウ店）
預金種目：当座
口座番号：0418213

Web サイトにてお待ちしております。
http://chikurin.org/